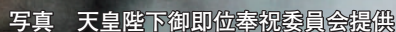


山梨県神社庁報



2月11日	建国記念の日
2月23日	天皇誕生日
3月20日	春分の日
4月29日	昭和の日

令和2年新春号 (第188号)



天皇陛下御即位をお祝いする国民祭典

[illegible][illegible]

謹賀新年



新春を迎えて

庁長 根 津 泰 昇

明けまして

おめでとうございます。

皇紀二千六百八十年、令和二年、庚子、七赤金星歳の輝やかな新しい新春を迎え、皇室の弥栄と神社関係者の益々のご繁栄をご祈念申し上げます。

昨年の四月三十日天皇陛下が御譲位なされ、皇太子殿下が第百二十六代の天皇陛下に践祚遊ばされ、「朝見の儀」「承継の儀」「即位礼正殿の儀」「大嘗祭」そして神宮への「親謁の儀」が納められ、令和の御代に引き継がれました。光栄にも上皇陛下のご譲位の「親謁の儀」天皇陛下の御即位の「親謁の儀」に奉送迎の栄に賜りかつてない感動を得ました。

御譲位の「親謁の儀」は昨年四月十八日に斎行され、関係者のみの参列で宮城内（境内）は落ち葉の舞い落ちる音しか聞けない静けさのなか斎行され、三十一年間の平成の御代に感謝の誠を捧げました。御即位の「親謁の儀」も同様に関係者の

みの宮域（境内）を天皇陛下は黄蘆染御袍、皇后陛下は十二単で身を包み参進遊ばされる御姿は一連の即位礼の儀式を納められた安堵の表情を拝顔出来たことは感動であり、令和の御代が安泰であることを願わずにはいられませんでした。

当県でも三月八日に天皇陛下御即位奉祝山梨県民大会を開催いたします。式典は県庁噴水広場で行い、後に議事堂前から立正校成会駐車場まで平和通りを提灯行列いたします。県民揃って奉祝気運を高めたいと存じますので、ご家族、ご友人お誘い合わせてご参列下さいますようお願い致します。

天皇陛下、皇后陛下が御譲位、御即位の折、神宮へご動座の下「親謁の儀」が斎行されることを思うと、皇室の御祖先天照大御神が祀られている神宮の意義と尊さを改めて感じる御代替わりでありました。又神宮の御札である神宮大麻は日本の文化として家庭毎に奉斎されるよう悠

久に伝えられている意義も理解できます。この機会を捉え神社関係者は氏神様、崇敬神社の御札も同様であることを認識し、頒布活動に當んで頂きたく存じます。御札を通して国家の安寧、世界の平和、個々の平安に祈りを捧げる姿が日本民族の基本であることを認識し、神社関係者が御札の頒布に積極的に従事しなければならぬ事を御代替わりの諸儀式を通して痛感いたしました。

本年は第六十三回神宮式年遷宮に向けての組織作りに着手する時期でもあります。前回の折には、神社庁建築の時期と重なり組織作りが遅滞した事を思うと、今回はいち早く組織作りをし、万難を排して活動する必要がありますのでご承知おき下さいますようお願い致します。

令和二年は、庚子、七赤金星歳です。七赤金星の事象は、財産の損失をみたり、金銭関係にも問題が起きる。将来の建設的發展の投資の為でなく、身にならない交際や遊興の為に支出が高み無駄な時間を費やすことが多くなります。結婚する喜び事もありますが出費の相もあります。今年は東京オリンピック・パラリンピックが開かれます。

準備も着々と進み順調に推移しているようです。盛大に開幕し、沢山の思い出を残して閉幕を迎えることを願っております。七赤金星の事象は喜び事の反面一抹の不安があります、オリンピックの後日本の経済、環境を見守っては如何ですか。

一抹の不安を解消するには、庚子の事象を上手に使うことです。庚子は、嫌な子（ネズミ）ではなく、飼ネズミ、家ネズミを指し、かわいらしさと、愛嬌のあるネズミを意味します。そので、相手の気持ちを尊重し穏やかに接する事で抑止できます。で、平日頃平常心と思ひやりの精神で生活する事を心掛けましょう。

今年注意を要する星の方は、三碧木星、二黒土星、七赤金星、九紫火星の方です。凶作用が強く出ることがありますので注意。六白金星の方は運氣上々です。ので一歩引く精神で頑張ってみたら如何でしょうか。

本年も神社庁の施策に御協力賜りますようお願い申し上げます。合わせて皆様がこの一年神様の尊いご神徳がお授かりになり平安安泰にお過ごしできます事ご祈念申し上げ新年の御挨拶と致します。

敬神生活の綱領

神道は天地悠久の大道であつて、崇高なる精神を培ひ、太平を開くの基である。神慮を畏み祖訓をつぎ、いよいよ道の精華を發揮し、人類の福祉を増進するは、使命を達成する所以である。ここにこの綱領をかかげて向うところを明らかにし、実践につとめて以て大道を宣揚することを期する。

一、神の恵みと祖先の恩に感謝し、明き清きまことを以て祭祀にいそしむこと

一、世のため人のために奉仕し、神のみこともちとして世をつくり固め成すこと

一、大御心をいただきてむつび和らぎ、国の隆昌と世界の共存共栄とを祈ること



御世替わりの新春を迎えて

山梨県神社総代会

会長 中 田 欽 哉

新年あけましておめでとうございます。

昨年は県総代会事業にご協力頂きありがとうございました。本年も更なるご協力をよろしくお願い致します。

平成三十一年一月には、山梨県知事選挙が行われ、「停滞から前進へ」と長崎幸太郎氏が立候補し、激戦を制し私達支持者は明るい希望を持ちました。特に中部横断自動車道が本年末に全線開通される事は山梨県にとつては経済流通に大きなメリット、又企業誘致が進み働く場所が増える事は若者にとつてはこの上ない喜びです。優良企業の誘致に全力を傾けていただきたい。引き続き長坂インターチェンジから八千代間の早期着工を期待しています。

山梨県の最重要課題は少子化です。三ヶ年間で約二万人余り人口が減り少子化が進んでいます。働き方改革は国、県、企業が一体となって環境を整えてやらなくてはならないと考えております。

四月には県議会議員選挙が実施され自民党議員が多数当选

し、与党県議として知事と一体となつて県政発展にがんばつていただきました。六月の参議院選挙地方区では森屋宏議員、全国区では赤池誠章議員が再選を果たしました。県民が自民党政権に期待している現れです。四月三十日に天皇陛下が譲位され皇太子殿下が五月一日即位されました。元号は「令和」と変わり、多くの国民は親しみを感じ、高く評価されました。

興奮と感激をくれたラグビーワールドカップ、準々決勝で強豪南アフリカと戦い敗れはしたが善戦、ワンチームに感激しました。

本年は東京オリンピック、パパラリンピックが開催されます。国立競技場が完成し開会式の会場、約六万人の観衆を収容出来るすばらしい会場です。人にやさしい競技場とし全国四十七都道府県の木材が使われております。競技する選手の皆さんは十分な力を発揮すると思います。外国選手を始め多くの人達が日本に来ます。日本国旗を掲揚してあたたかく迎えましょう。昨年は全国各地で自然災害が

相次ぎました。川の氾濫等により尊い生命が失われ、又家屋の流出、倒壊。今も復旧にあたっている人々、とてもお正月どころではない方も多くいると思います。今年こそ災害のない年でありたいものです。

神社総代におかれましても、氏子の皆様のお力によりお宮様を守って頂き感謝申し上げます。特に国旗掲揚は総代会の一大事業で皆様には祝祭日に国旗掲揚をお願いしてまいりました。ご理解を頂き年々掲揚する家庭が増え、街並みを歩いて国旗を眺める機会が多くなりました。しかし神社の維持管理する事が困難になり春祭、秋祭をすることさえ大変な集落もあります。

農村でも共同体意識の希薄化が進み自分の事しか考えない人達が非常に多くなりました。この様な時こそ対話が必要です。将来の子ども達のためにも今いる人達が将来の方向性を見極めて伝えていかななくてはなりません。それが私達の役目です。伝統文化を護り続ける事は大変です。やらなければなりません。皆でがんばりましょう。今年には希望の持てる年である事をお祈りし、各位の益々のご活躍をご期待申し上げあいさついたします。

御大典奉祝全国神社関係者大会

峡北支部 支部長 石 原 貞 夫

令和元年十二月五日明治神宮会館で、御大典奉祝全国神社関係者大会が行われました。

式典は国歌斉唱に始まり神社本庁統理の式辞、来賓祝辞があり当大会宣言の御即位大札を心からお祝い申し上げ、大御心を戴き大嘗の御祭の大御業に神習い、祭祀を厳修して神明奉仕に専念すると共に、世界の平和と繁栄を大御心とすると言う大会宣言があり、又奉祝奏舞に於いて悠紀地方の栃木の天下一閑白神獅子舞、主基地方の京都の相楽神社と御田祭の奉納を観賞し御大典奉祝大会が終了しました。この奉祝大会参加の前に大嘗宮の一般参観で見学をし、今年の四月三十日の踐祚の儀に始まり一日の空白なく即位礼の儀を行い、十月に世界に即位を報告する即位礼正殿の儀が執り行われ、十一月に大嘗祭が斎行され、この大嘗祭の儀は、天皇陛下が御即位後初めて行われる祭祀で、不可欠なものであり数ある祭祀の中で最高で重要な祭祀であるとされています。この令和の御代替りの一年を通して

数々の祭祀を見聞して特に本大会に於いても、悠紀地方・主基地方の奏舞が紹介された様に如何に大嘗祭が日本国、神社界にとって重要であるかは、古事記・日本書紀に記されている通り、新嘗を神々に奉る祭祀を天皇陛下が大嘗祭を通して古代からの文化を現在の世に再現され、国家・国民の安寧、五穀豊穡を天照大御神を始め神々に感謝、祈念なされています。この御代替りの四月からの一連の祭祀の斎行された一年を振り返り改めて思うに、神明奉仕に専念しなければと思います。



「国民祭典」に列席して

天神社 宮司 渡 邊 英 明

『天皇陛下バンザイ』
『皇后陛下バンザイ』
『天皇皇后陛下バンザイ』……
伊吹文明衆議院議員の先導により、万歳は延々十六回続きました。

令和元年十一月九日(土)午後五時皇居前広場に於いて天皇陛下御即位をお祝いする国民祭典が挙行され、私も列席させていただきました。機会を得ました。

以前から私は万歳三唱が気恥ずかしく、腕を肘で曲げ手は顔の辺りまでしか上げませんでした。しかし、今回いつまで続くだろうと思いつながら万歳を続けていました。ふとステージに目を向けると、安倍首相とおぼしき姿、以下議員の皆様又来賓の皆様方は腕を真つ直ぐ、高々と上げています。姿を拝見していると、私の腕も自然と伸びはじめ十回を越える辺りからはピンと伸び、『万歳』の声も大きくなりました。列席されている回りの方々も同様に腕も伸び声も大きくなるのが感じられました。

二重橋の中頃までお出ましの天皇皇后両陛下のお姿が見えづらくなってきました。日も沈み寒空の下、お二人は寄り添う様にステージや我々列席者に目配りをしながら立ち続けておられ、遠目にも仲睦まじく拝察しました。午後七時頃両陛下が我々に手を振りながら退出されました。我々も順次退出すべく振り返ると高層ビル群の夜影。陽が沈んだのも気付きませんでした。令和の御代が穏やかで平和な世になり両陛下の御健勝を願いつつ帰路に向かいました。



写真 天皇陛下御即位奉祝委員会提供

奉祝天皇陛下御即位 令和元年度山梨県神社関係者大会開催報告

「奉祝天皇陛下御即位令和元年度山梨県神社関係者大会」が昨年十一月二十八日、YCC県民文化ホールにて開催された。

第一部天皇陛下御即位奉祝祭は、山梨県神社庁理事、山梨県神道青年会の奉仕、神道雅楽会の奏楽演舞により厳かに斎行された。

その後天皇陛下御即位奉祝山梨県民大会会長金丸康信様より天皇陛下御即位奉祝山梨県民大会について御挨拶を頂いた。

第二部の式典では小佐野副庁長の開式の辞で始まり、神宮遥拝、国歌「君が代」斉唱、中村神社庁理事の先導による敬神生活の綱領唱和、物語者の御霊に黙祷の後、根津庁長より式辞が述べられた。次いで中田総代会長の挨拶がなされた後、参事より庁務報告が行われた。

功績表彰では、令和元年度山梨県神社庁規程表彰者四名、令和元年度山梨県神社総代会規程表彰者三十二名、神社本庁規程表彰者四名、全国神社総代会規程表彰者二名、神宮大麻頒布に尽力した神職六名と総代二名、二支部、一団体に對しそれぞれ代表者が登壇し、表彰状が授与、伝達された。

次に米寿、卒寿を迎えられた二名の神職に長寿のお祝い記念品が贈呈された。

次いで来賓の祝辞があり、神社本庁総代理鷹司尚武様御名代神社本庁総長田中恒清様、神道政治連盟会長打田文博様御名代神政連副会長石川正人様、自民党山梨県連会長代行山梨県議會議員皆川巖様、参議院議員赤池誠章様、衆議院議員堀内詔子様の五名の方より、それぞれの立場から祝意を表した。

来賓の方々の紹介、祝電披露の後、披表彰者を代表して、武田神社権禰宜遠藤倫生氏より謝辞があり、次いで堀内総代会副会長の先導により聖寿の万歳が奉唱され、佐々木副庁長の閉式の辞によって滞りなく大会は幕を閉じた。



若宮神社

宮司 志村 重治

去る十一月十八日、YCC県民文化ホールにおいて、奉祝天皇陛下御即位、令和元年度山梨県神社関係者大会が開催され、その席上、神宮大麻頒布優良奉仕者として、九月十七日に神宮における大麻頒布始祭にとくに功績のあった頒布奉仕者到大宮司より贈呈された表彰状を伝達頂きました。神宮会館の表彰のほか、県下神社関係者多数がご参席の面前でこの様な身に余る榮譽を賜りました事を誠に申し訳ないと思ひ、一念で拝受させて頂きました。

顧みますれば、不肖、私の如きが県神社庁東八代支部長に選任されて今年三月までの三期九年間、不安を抱きつつも、引き立てて頂く支部の方々の助けを受けて全うする事が出来ました。

在任の九年間において神宮大麻を増体出来たのも支部が掲げた『伝え合おう日本の心』の、三つの運動の一つに神宮大麻の増体運動を折り入れ、支部神職と東八代総代会がチーム必達に向けて取り組んで頂いた成果であり支部全員で頂いたものであります。皆様方と支えて頂いた一宮浅間神社に感謝申し上げます。ありがとうございます。

被表彰者抱負

小松神社

責任役員 坂本 宗正

令和元年十一月十八日YCC県民文化ホールにおかれまして山梨県神社関係者大会が開催されました。私神社庁規程表彰者として又、全国神社総代会規程表彰も頂きまして誠にありがとうございます。新しい令和の時代の始にこの様な二重のよろこびに身が引き締まる思いで感謝量でございます。私の奉仕する小松神社におきましては参拝者も少なく、若い人達が氏神様に對して無関心である方が多く、地元地域のためにも各役員の方々と共に神明奉仕する者として、祭典行事を始め維持管理を徹底し勤めて来ましたが、近年初詣を始とし、若い人達若い二人組など参拝者も多くなりつつ良い傾向にあります。又高齢化が進む今日、一人で暮している方も見受けられ、日々生活する中で悩み事心配事など神前で手を合せて、心のよりどころ、心の安らぎを求めて参拝をする方も見受けられる様になり、又参拝する方のためにも特に参道の清掃など気をつけております。私八十の手習として今後も奉仕させて致さたく思っております。是非ともご指導ご鞭撻をよろしくおねがいいたします。

神宮五大祭を奉仕して

武田神社 権禰宜

乙 黒 洋

伊勢の神宮では、年間千五百を越える恒例祭典が執り行われており、その中でも、十月の神嘗祭と六月、十二月の月次祭は、最重要として三節祭と呼ばれ、更に二月の祈年祭、十一月の新嘗祭を加え、神宮五大祭とされている。その五大祭にあたり、神宮より特段の御意向を以て、各都道府県より一般神職が奉仕を許されるが、本年の奉仕者として、山梨県神社庁より私を推挙下さり、その後、奉仕祭典は十二月の内宮月次祭と定められ、十二月十五日より同月十七日まで、伊勢の地に向向しての奉仕となった。

十五日午後三時過ぎに内宮齋館に到着し、他県よりの奉仕者四名とともに白衣白袴に改服、潔斎し、神宮職員から奉仕にあたっての説明を受けた後、習礼としての説明も伺い、その後参籠。翌十六日には、内宮宮城内に於いて、宮城内の説明とともに月次祭祭儀に関する説明を細かく戴いた後、午後二時に齋館応接室に於いて亀田少宮司様より奉仕辞令を交付戴くとともにお言葉を賜った。

貴夕大御饌の奉仕となった。小雨により雨儀による奉仕となるも、その僅かに降り注ぐ雨が醸し出す柔らかな空気の中、内宮御正宮に参進。内院に於いて参列し、神宮祭主 黒田清子様、小松大宮司、亀田少宮司以下神宮禰宜、権禰宜、宮掌の奉仕による祭儀を奉拝するとともに八度拝による拝礼をさせて戴いた。一度齋館に復し小休止を取り、翌十七日午前一時五十分に参加し、由貴朝大御饌の奉仕となり、先の奉仕と同じく参列・拝礼をさせて戴いた。その後、仮眠・休憩をさせて戴くなどし、改めて午前十一時に潔斎の上、着装し、午前十一時五十分の参進により奉幣の儀に参列・奉仕となった。

雨も止み晴儀となる中、同じく御正宮内院での奉仕となり、本祭儀では祭主、大宮司、少宮司、禰宜の太玉串の奉奠が有り、その後、八度拝により拝礼をさせて戴いた。退下の後には有難いことに内宮齋館応接室で直会を頂戴した。

御正宮の直ぐ近くに於いての奉仕をさせて戴き、天照大御神様の御神威を間近に感じたことは言うまでもなく、更には今回雨儀・晴儀両方を経験出来たのは、非常に有難い限りであった。

当初説明を受けた際に、「晴儀の時もちろんだが、雨儀の時こそ奉仕の技量が求められる」と、予め拝聴していた事もあり、それぞれを対比しながら拝する事ができた。

神宮新穀感謝祭

南都留支部

支部長

上文司

厚

恒例の神宮新穀感謝祭参宮旅行が十一月二十五日、二十六日の日程で催行された。昨年の参加人数を別途に募集してきたが、奇しくも同員数の二六五名の参加を得た。

恒例の神宮新穀感謝祭参宮旅行が十一月二十五日、二十六日の日程で催行された。昨年の参加人数を別途に募集してきたが、奇しくも同員数の二六五名の参加を得た。

二十五日未明より南都留各地から出発したバス七台は、新東名高速道路、駿河湾沼津インターチェンジで集結、結団して一路伊勢の地へと向かった。

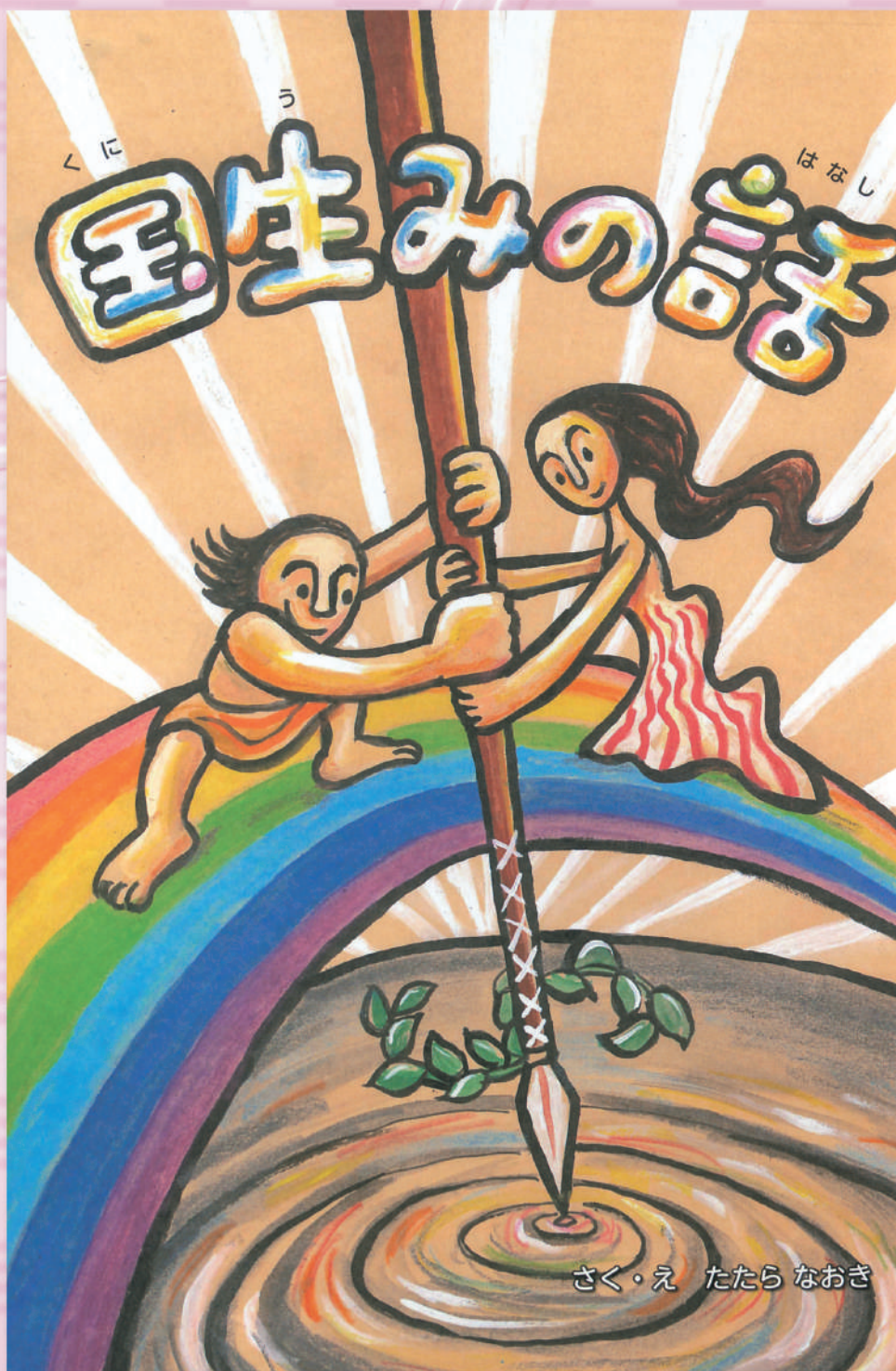
各号車足並み揃えて順調に内宮前に到着、お馴染みの岩戸屋で昼食をとり、外宮へと赴いた。

伊勢神宮崇敬会、吉田様の御挨拶をいただき、御垣内参拝、別宮多賀宮遥拝を終えて再び内宮へ向けた。御垣内参拝、別宮荒祭宮遥拝の後、神楽殿にて御神楽奉納。御神楽開始前の控室で神宮崇敬会、藤本太事務局長と神宮禰宜様との雑談のなかで、二十二日、二十三日に終えたばかりの天皇皇后両陛下の「親謁の儀」について、両宮の

例年はどこか著名神社への正式参拝が中心の日程の二日目だが、今年はナガシマスパーランドなばなの里での昼食、国内最大級のベゴニアガーデンの散策をメインとした。毎年参加の達人からは「たまにはこういうのもいいな」との声も多く聞かれた。

帰路は刈谷サーブスエリアで解団し、各自順調に無事に旅を終えた。

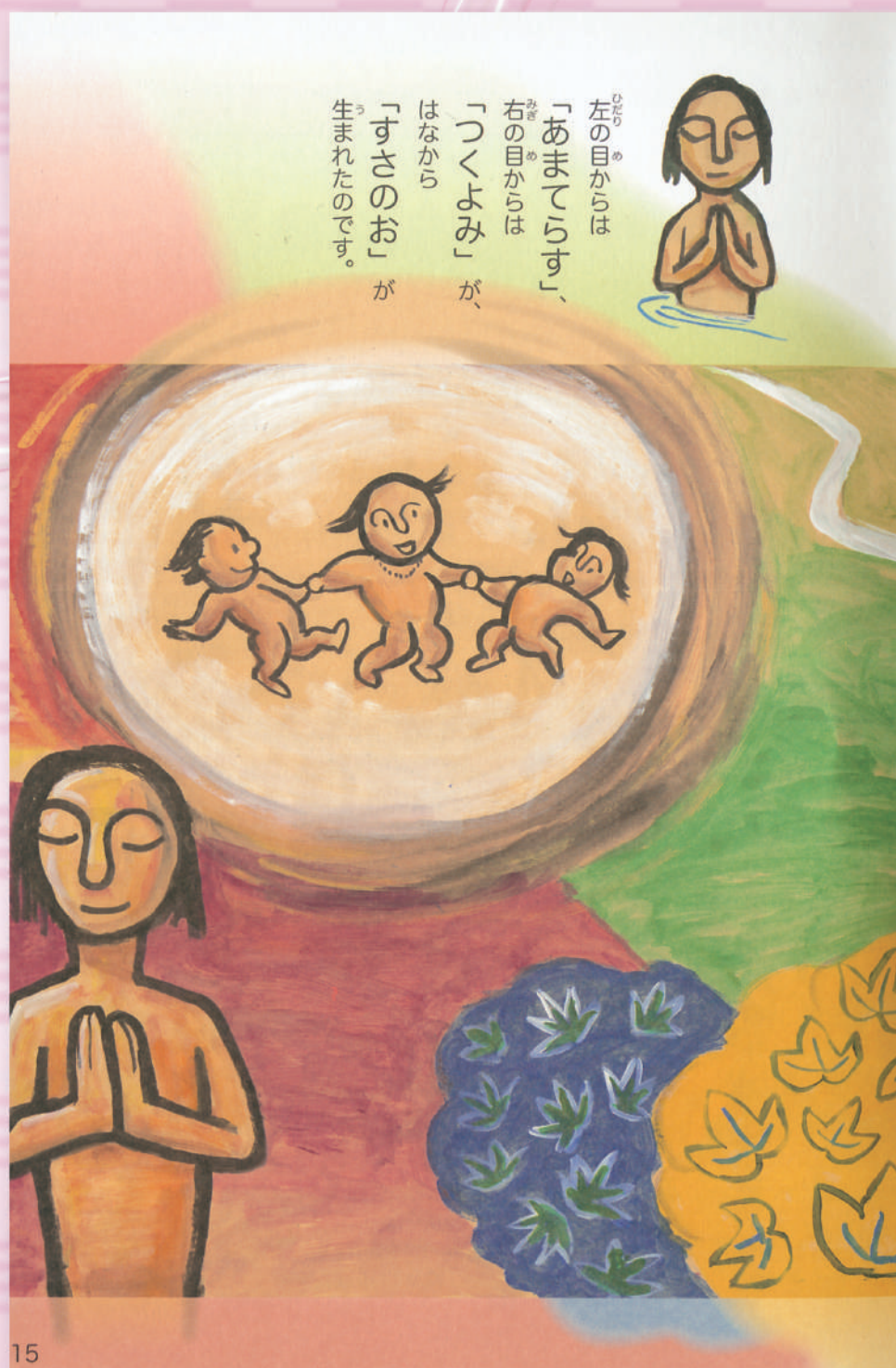
絵本日本の神話
国生みの話（第五話）



「一般財団法人 日本文化興隆財団」提供
問い合わせ 東京都渋谷区千駄ヶ谷四一五―十
電話 〇三―五七七五―一四一五
一冊 二〇〇円

お子さん、お孫さんと、
神話の世界をお楽しみ下さい。

さく・え たたら なおき





「いざなみとの わかれは とても かなしいけど
こんなに かわいい 子どもたちを
さずけてくれて ありがとう。
ほんとに ほんとに ありがとう。」

この三人の神さまは
すくすく 育って
わたしたちの国を
よい国に したのです。

むかし むかしの そのむかし。
こうして

わたしたちの国は できたのです。
こうして
日本は はじまったのです。



おしまい



（一八九号より「アマテラスとスサノオ」を掲載いたします。）

さく・え たたら なおき

大嘗祭に際し神社庁神殿に於いて 行う祭祀を奉仕して

東山梨支部 支部長 日 原 盛 幸

令和元年十一月十一日午後一時三十分、大嘗祭に際し神社庁神殿において行う祭祀が根津泰昇山梨県神社庁長を始め多くの神社関係者の参列の下斎行された。

奉仕は齋主日原盛幸東山梨支部長理事、副齋主上文司厚南都留支部長理事、祭員濱将盛神道青年会員、祭員高阪雄二神道青年会員、祭員坂本圭神道青年会員、典儀植松真芳東八代支部長理事、献幣使中村宗彦教化委員長理事、随員竹埜元木神道青年会長。奏楽は神道雅楽会。鞆鼓金子寿元金山神社宮司、太鼓中川武仁甲斐奈神社宮司、鉦鼓藤巻普紀住吉神社権禰宜、笙関宣隆武田神社権禰宜、箏篠篠原康正稲積神社権禰宜、龍笛秋山忠也穴切大神社宮司の各氏が務めた。

祭儀は大祭で、修祓に始まり一拝、開扉、献饌、祝詞奏上、献幣使祭詞奏上、玉串奉奠、撤幣、撤饌、閉扉、一拝と進め恙無く了る事が出来た。

神社本庁では、全国の神社で恒例の新嘗祭が古例に基づき

『大嘗祭当日の祭祀』として厳肅に執行されるよう勸奨（事情により日時を変更するも可）し、加えて全神社に限なく臨時の本庁幣の供進を行った。従って今回の新嘗祭は神社界挙げて大嘗祭を奉祀すると云う麗しい状況となった。

昨年五月の譲位に依る改元はお祝いムード一色となり、未来への希望とともに、新しい令和の時代としてスタート、御即位に関する全ての儀式を恙無く終えた。そして世界に唯一無二の元号は一層輝きを増した。

此の度の祭典奉仕は、我が国の稲作文化の重要性をいやが上にも再確認する機会と成った。



武田神社御鎮座百年記念大祭

武田神社 権宜 内 藤 寛

武田神社では去る十月十九日、武田神社御鎮座百年式年大祭・奉祝祭を斎行し、引き続き境内甲陽武能殿及び武能殿前広場で記念式典併せて崇敬会の令和元年度大会及び祝賀会を開催しました。

武田神社は武田晴信公（信玄公）を御祭神として、公在世時の居館、躰躰崎館跡に大正八年四月鎮座祭が行われ、平成三十二年四月に百年を迎えました。大正四年大正天皇御即位御大典に際し、公に従三位が追贈され、神社建設の機運高まり、大正五年十月十九日に武田神社奉献会が発足し、神社創建が本格的に動き出しました。此の日を記念し、御鎮座百年式年祭・奉祝祭を午後三時半より宮司以下の奉仕の下、約百八十名の参列者を頂き斎行されました。

引き続き四時半より記念式典が行われました。式典は千野総代会長が御鎮座百年の意義を踏まえる中での開会の辞に続き、宮司より記念事業報告を含めた挨拶がありました。次いで信玄公十七世孫・武田家当首で崇敬会総裁でもある武田英信氏より

お言葉があり、また崇敬会進藤会長の挨拶があり、次いで御鎮座百年関連の各種記念事業に際して特別に奉賛を頂いた方々、また各種工事に従事した方々に感謝状を贈呈いたしました。続いて当日臨席を頂いた来賓の方々より御挨拶を頂き来賓紹介、祝電披露に続き清興として巫女による神楽『浦安舞』が奉奏されました。

その後、境内特設会場での祝賀会となり御祭神の御心のまま、和やかな中に終了しました。



副庁長 小佐野 正史

元々簡素な造りではあるが、
本来は茅葺きであつたはずの屋
根が今回は板葺きに変わつてし
まい、日本の伝統や文化が少し
ずつ薄れていくことへの寂しさ



この想いを後世に伝えていく
為にも、先人たちが繋いできた
悠久の歴史をこれからも受け継
いでいかなければならない。

4	4	3	
.	.	.	
3	2	30	

川中島比枝神社例大祭	南アルプス	勝沼町	牧
等々力諏訪神社春季例大祭	南アルプス	勝沼町	牧
丘町北原神社春季例大祭	南アルプス	勝沼町	牧
山梨市正徳寺唐土神社春季例大祭	南アルプス	勝沼町	牧
石和町石和・蟬宮春季例大祭	南アルプス	勝沼町	牧
アル市塩山・上萩原部神社例大祭	南アルプス	勝沼町	牧
甲斐市篠原八幡神社春季例大祭	南アルプス	勝沼町	牧

4・19

穴切大神社	春季例大祭	玉詣地区
玉詣神社	郷土の祭り	甲府市
元渡御	折笠獻土祭	甲府市高畑
元宮住吉神社	春の例大祭	甲斐市長
塚神社	春の例大祭	富士吉田市新倉
富士浅間神社	大祭	富士吉田市新
富士浅間神社	さくら祭り	吉田
土河口湖御浅川白山神社	春祭り	富士

総代広場 第三回

〈東八代支部〉

総代会 副会長 高野 博 夫

この四月から、深澤孝行前総代長より引き継ぎ、山梨県神社総代会の一員として関わるようになりましたが、総代としてどのような取り組みを行っているのかご紹介したいと思います。

ご奉仕する石和八幡宮は、石和町最古の建築とされる御社殿、随神門などから構成され、地域の氏子らにより崇敬されておりました。ところが、平成十八年、放火とみられる不審火により御社殿は焼失してしまいました。御社殿を再建しようと、宮司及び総代等が中心となり地域住民の協力をいただき再建委



員会を組織し、広く県内外の方々の奉賛を得ました。そして新社殿は造営され、三年後の平成二十一年の暮れに遷座の儀式が挙行されました。

石和八幡宮が鎮座します笛吹市石和町市部区は、三つの行政区から構成され、総人口はあわせても二千人足らずの商業地域です。区ごとに若干異なりますが、それぞれの区から選ばれた総代が諸行事について準備、運営及び奉賛活動などを行っております。地域の氏子のみならず、多くの方々が集う主な行事は、春季例大祭、撰社祭(二十日祭)、歳旦祭、節分祭などとなります。

一方、年間を通して毎月三回、神社社殿及び境内地の清掃活動を行っております。その折には、各地区から地元婦人部が交代で加わり、終了後には、世間話の花が咲き、情報交換の場となっている状況です。婦人部の方は、若手に徐々に受け継がれて世代交代が進みつつあります。しかし、総代の方は、なかなか進まないのが実情で、その確保が緊

急の課題となっております。

平成から令和への御代替わりという時代の大きな流れの中で、「天皇陛下御即位をお祝いする国民祭典」に臨席する機会を得るなど、まさしく一生に一度の体験をすることができました。より多くの方が総代として参加できたら幸いと考えます。さらに、気軽に「八幡さん」に参拝していただけるようにできたらいいと思います。

(写真は令和二年新春を迎えた境内)

〈峡南支部〉

総代会 会長 熊 王 育 雄

昨年は、年号が令和となり徳仁親王が新天皇に即位され、十一月には皇室伝統の神事「大嘗祭」が行われました。新天皇が神々に新穀をお供えし、国家・国民の安泰と五穀豊穡を感謝し祈るという他国にはない神秘的なものであり、それに先立つ九日の御即位をお祝いする「国民の祭典」に参加させていただいたので感慨深く報道を見ていました。私の産土八幡神社でも祭

儀を行い役員一同新しい御代の到来を実感しました。

振り返りますと、私は幼い頃より八幡神社の境内で遊び、祭りを楽しみ、青年になって先代山本光寿宮司のご指導に薫陶を受け、伝統芸能の内船歌舞伎に熱中し、青年団活動にも積極的に参加したものでした。その後、八幡神社の会計から始まり五年間の役員、南部町氏神敬神会役員・南部町護国神社奉賛会役員を務め、現在は内船八幡神社の責任役員を仰せつかっております。現宮司と神社役員とは毎年神社参拝を続け、石清水八幡宮・宇佐八幡宮・太宰府天満宮・霧島神宮・北海道神宮と巡り、今年は出雲大社の正式参拝が予定されており楽しみにしております。

人生の中で困難なことや事故に遭うことも多々ありましたが、無事に過ごして日々楽しく暮らしているのも、神様のお恵みをいただき、生かされていると思っております。これからも「感謝の心」を肝に銘じながら「神明奉仕」にいそしんでまいりたいと思います。

年男
年女

令和二年 庚子



年男の決意

立石神社 宮司 高原 左門

昭和十一年一月一日誕生の私は、干支が子歳生まれです。八十四歳の男子として、今日まで、多勢の人々に指導、助言、親しくされながら、社会人として更に神職として、良き人生を過ごす事の出来た事に、改めて感謝して居ります。

初春の令月にして気淑く風和ぎ、梅は鏡前の粉を披き、蘭は珮後の香を薫す。

元号令和の意義に相応しい生き方を改めて自覚し、更に実行して、余生を送りたいと心に誓い、これまで以上に熱く邁進する心意気を抱いて、令和二年が稔多き良き年と成る様又神社関係者の皆様と力を合わせ、神道を守り行くべく努める決意です。

年女を迎えて

船形神社 権禰宜 平嶋 敏子

明けましておめでとうございます。令和となり、初めての新年を迎え、六度目の年女という事になりました。年女だからといひまでも特におめでたい事でも無く、我ながら年をとったと感じております。

今年は閏庚子の年。昨年のような大きな災害に見舞われる事無く、良き年でありますようにと祈念するのみです。

ご奉仕しております本務社は江戸時代からの建築物なので、古くなった社殿の修復をしたいのですが、なかなか資金が集まらず悩ましいことです。

子年は金運が良い年とも言われているようです。今まで余り買ったことのない宝くじでも買ってみましょうか。年女に福をもたらして下さらないものでしょうか。それこそ神頼みですね。

光陰矢の如しとは、まさにその通り。私が神職の資格を取り出仕から始めた時からもう四十年余りになります。父の代わりに兼務社でご奉仕した時には、私もまだ若かったので「こんな娘っ子が」などと思われていたかも知れませんが、心やさしい総代さん氏子さん達に支えられ、いやな思いをした事もなくご奉仕して参りました。直会で参列者の方々とお話をするのが楽しみです。昔の話をして下さったり、知らない話を沢山聞かれます。「又次も来てください。女性の神主さんの方がいいよ」と言われると社交辞令、お世辞？と思っても、うれいものです。女子神職の良さを分かって頂けてきているのではないかと思います。これからも女子神職として気配りの出来るご奉仕をして参りたいと思います。

年男を迎えて

御獄神社 宮司 勝 俣 秀 文

これまで、仕事の事情で神職として十分な御奉仕ができず、皆様方に御迷惑をお掛けする機会が多いことを、この場をお借り致しまして、先ず以てお詫び申し上げます。

さて、昭和四十七年二月、札幌オリンピックの開催期間中に生を享け、東京オリンピック・パラリンピックの開催に沸く本年、四度目の年男を迎えました。

私自身、現在は、神職としての活動よりも、地元神社の保存会のメンバーとして、氏子の皆様と一緒に祭祀に御奉仕させていただく機会が増えておりますが、この保存会の活動を通じ、改めて、神社が地域の人々に支えられていることや、神社が地域コミュニティの形成に果たす社会的役割の大きさを実感しております。

神職として地域のために尽力した父が、志半ばで亡くなったのは六十歳でした。私自身、浅学菲才を反省する日々でございますが、次の年男・還暦を迎えるまでの十二年間で、少しでも成長ができるよう努力を重ねて参りたいと考えております。

結びに、本年が、平和で活力にあふれ、実り多き年となりますことを心よりお祈り申し上げ、節目の年を迎えた抱負とさせていただきます。

神明奉仕への思い

巨摩八幡宮 宮司 斎 藤 雄

鼠年の私は本年度で三回目の年男を迎えます。前回の時は就職という人生の大きな転機を迎えましたので、本年も大きな転換点となることを期待しています。

本年が前回の年男の時と大きく異なる点は、神明奉仕への関わりについてであります。その時は、本務社及び兼務社には、父が主で奉仕しており、私は本務社の禰宜及び兼務社一社の宮司として奉仕を行っておりました。その時は、神事を行うことは年に数回程度と神明奉仕に関わることは決して多くありませんでした。しかし、平成二十四年に父が病に倒れ他界してからは、私が本務社の巨摩八幡宮及び兼務社七社の宮司としてそれまで以上に深く神明奉仕に関わらせていただくこととなりました。

最初は右も左も分からず苦勞することはかりでしたが、未熟な私に、温かく接し色々な事をご教示いただいた各神社の氏子総代各位、そして神社庁の関係者の皆様には、心より感謝を申し上げます。

本年をまた一つの区切りとして、より一層神明奉仕に努めてまいりますので、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

今後の予定

○天皇陛下御即位奉祝山梨県民大会

日時

令和二年三月八日（日）

第一部 奉祝式典

十五時三〇分～十六時三〇分

第二部 提灯パレード

十六時三〇分～十八時〇〇分

（時刻は予定です）

会場 山梨県庁噴水前広場

主催 天皇陛下御即位奉祝山梨県民大会実行委員会

会長 長 金丸 康信

（甲府商工会議所名誉会頭）

実行委員長 大柴 邦彦

（山梨県議会議長）

ご案内

①会場では奉祝提灯と国旗小旗を記念品として差し上げます。

②奉祝式典会場には椅子等の用意はありません。

③当日の服装は平服で結構です。防寒対策を講じて下さい。

④会場に駐車場はありません。公共交通機関をご利用下さい。

⑤雨天決行です。



天皇陛下御即位奉祝
山梨県民大会

○神社庁神殿祈年祭のお知らせ

神殿祈年祭を左記の日程で行います。

一、日時

二月二十一日（金曜・仏滅）

一、日程

一、神殿祈年祭

午後一時三〇分

一、教化講演会

午後二時三〇分

講師

神社本庁 本宗奉賛部長

湯澤 豊先生

一、場所

山梨県神社庁 神殿

○靖國神社、山梨縣護國神社参拝旅行

神道政治連盟山梨県本部では、恒例となりました靖國神社参拝旅行を左記の日程で実施致します。山梨縣護國神社の参拝につきましては、別途開催致します。

記

一、日程

三月二十七日（金曜・赤口）

一、参加費

一〇、〇〇〇円也

一、旅程

出発（山梨各地）

五時

靖國神社正式参拝

九時三十分

遊就館拝観

十時三十分～十一時三十分

横浜中華街（昼食・自由散策）

十二時三十分～十五時三十分

訂正

一八七号四項「庁務報告」の記事中誤りがございました。お詫びして左記の通り訂正致します。

記

山梨県神社総代会規程表彰

甲府恵比寿神社世話人

梶原 政治

以上

支部研修会の案内

恒例の神職祭式研修会を左記の日程で実施致します。

神職は生涯の研修を通じて己を磨くことにより氏子・崇敬者の信頼を得ることが出来ます。他支部の研修を受けることもできますので、積極的にご参加ください。

記

一、日時と場所

①甲府支部

日時 五月十三日（水）

場所 山梨県神社庁

②東山梨・東八代支部

日時 二月二十日（木）

場所 山梨県神社庁

③峡南・峡中・峡北支部

日時 三月九日（月）

場所 山梨県神社庁

④南都留・北都留支部

日時 五月二十八日（木）

場所 松尾神社

受付 八時三十分

開講 九時